

国立国語研究所学術情報リポジトリ

『田名部辯語彙集』 記載語彙のアクセント資料

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2020-08-21 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	https://doi.org/10.15084/00002997

『田名部辯語彙集』記載語彙のアクセント資料

ローレンス・ウエイン¹

1 はじめに

東北北部三県の方言の単語は単独では一音節がほかより高く発音される。単語の一ヶ所のみが卓立するために、話者にとってそのアクセントは意識されやすいと思われる。そのために地元の方言集の多くはアクセントを記録している。例えば、山村（1980）の青森県東津軽郡平内方言は高い音節が太字ゴシックで、秋田県学務部学務課（1929）の秋田県諸方言や成田（2002）の青森県西津軽郡木造町方言は高い音節が傍線によって表示されている。工藤（2008）の青森県南部の諸方言や関谷（2013）の岩手県上閉伊郡吉里吉里方言では傍点が使われている。しかし一方では、下北地方の旧田名部町（現青森県むつ市東部）の方言集『田名部辯語彙集』（川嶌 2002）はアクセントの記載がない。本稿ではこの欠を補うべく、川嶌（2002）（以下『語彙集』という）記載の語彙を調査して、そのアクセント資料を提示する。

2 田名部方言

2.1 話者と表記

調査は2019年4月13日～15日と8月29日～31日に、むつ市の曙町集会所で行った。話者は次の5名である（敬称略）²。

川村丈夫（昭和19年生）	石澤 正（昭和19年生）
望月節子（昭和24年生）	川畑久枝（昭和20年生）
其田静子（昭和14年生）	

本稿の資料の方言形は音声表記で示し、使用する音調記号は次のとおりである。

[: 音調の上昇] : 音調の下降]] : 拍内下降 [[: 拍内上昇

地名の田名部は現地では低-高-低の音調で、これは ta[na]buu のように表記する。語末音節が二つの [[に囲まれている語形は無アクセントである。例えば ka[ma]「鉄瓶」とあるのは、

¹ ローレンス・ウエイン：オークランド大学・上級講師（wp.lawrence@auckland.ac.nz）

² 話者の方々に対して心より深く感謝する。また、曙町町内会長の久保三郎氏に対しても、氏のご協力があったからこそこの調査を成し得たので、ここに謝意を表す。

単独形の発音は ka[ma で、助詞が付くと kama[▷ (例えば kama[ba 「鉄瓶を」) という発音になることを意味する。語末の] と]] は音声的な変種であり、ともに語末アクセントである。拍内上昇はアクセントではなく、文イントネーションである。下降記号の後の上昇記号は o[se][ka]rü 低-高-中-低、kok[ki]ki[gü] 低-高-低-中のように半上昇を表す。

本稿では資料を『語彙集』の順に並べた(付したページ番号は『語彙集』のページ番号である)。時間の都合で、『語彙集』掲載の連語(例えば [a]rümondene 「不埒な奴」)ならびに辞書形以外の活用形は基本的に調査しないことにした。それ以外、『語彙集』には載っているが、本稿にない語形は話者に別の方言(津軽方言、東通方言、上北方言)と断定された単語か、あるいは話者が聞いたことがないと言った単語である。また、『語彙集』にない語形(例えば上野(1991, 2019)の青森県方言の形容詞と動詞の資料にある俚言)もいくつか併せて調査した。それらに関しては下記の資料でその語形の前に + を付した。

2. 2 アクセント資料

p.1 [a]iko ミヤマイラクサ [山菜]

aoei[ei] かもしか

a[ga] 塗

+ a[ga] 垢

aga[ri] 灯り、明るい

a[gü] 灰

+ a[gü] 野菜の灰汁

aküta[re]] 憎まれ者

+ ^dzü[rü]ške 憎まれ者 + ^dzü[rü]skedo 憎まれ者たち

kaņa[do] 踵

+ agüdoņa[ra]mi 藁沓を履くとき、踵を寒さから守るために踵の周りに巻く布

age[bi] あけび

p.2 a[ŋe]tamü[ge] 供え物すること

+ tamü[ge]rü 供える

aņemo[no] 供え物

akko[ra], akkora[heŋ] あの辺

asa[rü] 掻き集める

aę[ka]da 足跡

a^dzü[ga]rü 預かる a^dzü[ge]rü 預ける

a^dzü[ba]rü 集まる a^dzü[be]rü 集める

aso^m[bü] 遊ぶ

+ aso^mpi[sa] ~ aso^mbi[sa] ~ aso^mbü[sa] 遊びに(行く)

+ [to]sa i[gü] 取りに行く

- andzūgi^dze[ro] 芋虫
a[se] 浅い
ase^m[bo]] 汗疹
- p.3 asogoa[da]ri そこら辺
ada[rū] 当たる
atta[ni] あんなにも
a[de ne]] 値打ちがない
adoha[da]ri 一旦決まってしまったことに対して不満を言う
adoφū[gī] 二次会
ado[ma]rū 後回しにする、後ろの方になる
- p.4 a^mbū[gū]] 泡
[a]^(m)be 一緒に行こう [命令形]
ame[rū] 饅える
a[mo]ko 化け物 [子供に対して使う言い方]
+ bagemo[no]] 化け物
aja[ga]rū 肖る、戯れつく
a[ja]ko お手玉
+ aja[to]ri 綾取り
arage[ne] 荒々しい
arasaja[ei] 欠点探し
arida[ge] すべて
arūgima[wa]rū 歩き回る
- p.5 a[rū]gū 歩く
awage[ne]] 泡のように毀れやすい
awa[sa]rū 寸法が合う
+ a[wa]rū 寸法が合う、気性が合う
aη[ko] おはじき
+ aη[ko] 餡
[an]tea 若い男
+ [net]tea 未婚女性
am[be]] 調子
iga[ge] 鋳鉄溶接
+ igage[ja]] 鍋釜を修理する人
- p.6 + o[go]rū 怒る
iqi[a]ū 会う
iqiηi[wa], igiei[na] 行き際

- i[gü 行く、帰る
- p.7 i[gɛ]rū 埋める、植える
 üno[ga]sü ~ üno[ga]sü 動かす
 isa[ba] 魚屋
 isü [wa]rū 居座る
 + i[da]ko 口寄せ巫女
 ida[ma] 板の間
 idawa[ei] 勿体ない
 izü[gü]rū ~ i^dzi[gü]rū 弄る
 i^(nd)zi[rū] いじめる、いじる
 [i]züga[ka]züga いつの日か
 ikimo[ki] 短気、せっかち
 iküraka[ɲeN] いい加減
- p.8 izüküra[ei] 違和感がある (話者によっては itsüküra[ei])
 ieeokü[ta](N) 全部一まとめ
 [i]zidari[ka]zidari 不定期
 itteo[me] 一人前
 ittoji[ma] ちょっとの間
 ip[pü]gü 一休み
 ip[pe] たくさん
 ina[gü]eta ~ [na]güeta 紛失した
 i^hüriko[gi] ~ e^hüriko[gi] 見栄張り、洒落者
- p.9 ira[rū] 入用である
 + ügi[rū] 浮く
 üeiro[kü^m]bi 後頭部、盆の窪
 üške[ne] 劣っている
 ü^dzürü 感染する
 üş[pa] 薄刃の包丁
 üso[ko]gü 嘘をつく
 üsoko[gi] 嘘つき
- p.10 ü[so]sü 嘘をいう
 üda[de] 気持ちざわめき、不安
 ü[da]rū 暑気当たりする
 üda[rū] 歌う
 üzüge[rū] 甘える
 ü[me] うまい

- ürü[ga]sü ふやかす、ずっと後まで先延ばしする
ürü[da]gü あわてる、気持ちが動揺する
+ üre[rü] (品物がよく) 売れる + ü[re]rü 売ることができる
[üŋ]konoki ~ [oŋ]konoki イチイ [樹]
üzügü[ma]rü しゃがむ
- p.11 iⁿ[dʒi] ~ eⁿ[dʒi] 窮屈
i^dziküra[ei] ~ e^dziküra[ei] 違和感で窮屈
e^füriko[gi] ~ i^füriko[gi] 見栄張り、洒落者
e[hep]po 根性枉げ
- p.12 e[he]rü ぐずる、すねる
ehera[ga]sü 相手の気持ちを損ねる
i⁽ⁿ⁾zikera[ga]sü ~ e⁽ⁿ⁾zikera[ga]sü 手を加えておかしくする
[eŋ]tʃko 藁網の赤ん坊入れ
o:meei[ŋü]i 大食漢
[o:]jage 裕福な家
- p.13 oga[ei] 変だ、おかしい
ogaç[ken]ta おかしな
o[ŋa]rü 動物などが育つ、毛が伸びる
oŋara[ga]sü 育てる
o[gi] 燻
ogüri[to] 送り人
ü[ŋü]i ウグイ [魚]
koro^m[bü] 転ぶ
ogosa[ma]ei[[na] 怒らないで
+ o[go]rü 怒る
o[gok]ko 漬物 [幼児語]
o[ei]züga[ni] 静かにしなさい
o^dzo[me]gü, oⁿ[dzo]mü 尻込みする、おじける
- p.14 o[se][ka]rü 重石を乗せる、アイロンをかける
o[teŋ]ko お座り [幼児語]
okkanaga[rü] 怖がる
okka[ne] 恐ろしい
[ok]kita 大きな
+ ok[ke]rü 転ぶ + ok[ke]sü 倒す
oʃ[ke] ~ ozü[ge] 味噌汁
ot[tei] 啞

- ottʂ[ke]rüt 押し付ける
 + oⁿdogasüt 脅かす
 oppiro[ŋe]rüt 広げる
 [tot]tea 父
 [a]ŋo 顎
 a[ŋo]ta 顎、顎の先端
 odode[na] 一昨日
 odoroga[süt] 目覚めさせる、びっくりさせる
 p.15 odo[ro]güt 目覚める、びっくりする
 o[ha]ŋi ご飯を餡で包んだもの
 o^m[be]rüt 覚える
 o^m[bo]rüt, o^m[bü]rüt (人を) おんぶする
 + eo[rüt] ~ eo[üt] (荷を) 背負う
 o^mbo[sa]rüt おんぶさせる (自分がしてもらう)
 o^mbo[se]rüt ~ o^mbo[he]rüt (人を人の背中に) 背負わせる
 üt[ma] ~ m[ma] ~ o[ma] 馬
 + tana[bü]üma 田名部馬
 oma[rüt] 携帯便器
 o[me] お前
 ome[da] お前の家
 p.16 ome[do] お前達
 omeni[ka]te お前のせいで
 omoci[re]: 嬉しい、楽しい
 omo[de] 重い
 o[mo]üt 思う
 ojaqüma[gi] 親類
 kari[rüt] 借りる
 kai[ma::]ʂ 子供の買い物時の挨拶
 [ka]ga 妻
 kaŋama[rüt] しゃがむ
 + kaŋa[mü] 屈む
 p.17 kagara[e]rüt 攻撃される
 kaŋizü[ge] 自在鉤
 + [ka]⁽ⁿ⁾da 火棚 (炉の上に天井から吊るした棚)
 [ka]güt 掻く
 ka[gü]süt 隠す (「しまう」の意味はない)

- + kadazü[ge]rütü しまう
kagütü^(d)zi] 屋敷内で家の後ろにある土地や蔵
ga[sa]ebi, eakoe[bi] しゃこえび
kaci[ŋa]rütü 傾く kaci[ŋe]rütü 傾ける
[ka]ŋpe エイ
[kaⁿ]dze うに
+ [ütü]ni ばふんうに
+ [no]na うにの一種
ka[se]rütü ~ ka[he]rütü 食べさせる
- p.18 ka[da]ho ~ ka[dap]po 片方
ka[da]kürä 偏屈
kada[bik]ko 履物などの片方だけ、びっこ
kadajütü[gi] 表面が凍結した春先の雪
ka[da]rütü 仲間に加わる、夫婦になる
+ kada[rütü] 話す、講演する、説得する
ka[tea]gütü 引っ掻く、搔く
katea[ma]sütü めちゃくちゃにする
[gak]ka 戸主妻
boribo[ri] ナラ茸
[gak]ko 漬物 [幼児語]
gattea[gi] 痔
+ ei[bi]gatteagi 手のひび割れ
- p.19 kat[tsütü]gütü 追いつく
[gap]pa, [ge]ro 雪すべり下駄 (少女用)
kütü[ra]ütü 食らう
kap[pa]rütü 盗む
+ kappa[ra]ji どろぼう
kap[po]ŋütü 掻き込むように急いで食べる
kantŋkewa[ra]ei 発育不良児
maⁿze[mę]ei 混ぜご飯
ka[de]rütü 加える
ka[to]sütü 追い越す (話者によっては kat[to]sütü)
ka[ne] 鉄漿
- p.20 kapütüke[rütü] 黴びる、おできの瘡ができる (話者によっては ka^mpütüke[rütü])
ga[he ne]] 体力がない
ka[he]ŋütü ~ ka[se]ŋütü 稼ぐ、労力を使う

kaeriei[na] 帰り際

ka[ma] 鉄瓶

ka[ma]sü 掻き回す

+ kama[sü] 匂いを嗅がせる

+ ka[ŋü] 嗅ぐ

+ kama[sü] 藁袋

kamadoke[ei] 倒産した人

+ kamado[ke]sü 倒産する

+ kama[do] 一戸の家の経済状況

kama[ri] 匂い

+ kama[rü] 匂う

ka[ma]ü 構う、関わる

kamo[sa]na ~ kama[sa]na 拘るな、いじるな

p.21 ka[ra] 体 (~ばかりでっかくて)

karaüsoko[gi] 嘘つきめ

+ man[to:], semmi[tsü] 大嘘つき

kara[ŋa]gü, kara[ŋe]rü 縛る

karakⁿ[zi] わがまま勝手

karakü[zi] 口答え

karako[ea]gü ~ kara[ko:]eagü 余計な節介

karakop[pe] 見栄っ張り

karaheŋ[ki] 余計な神経

karappo(ne)ja[mi] 怠け者

ga[ra] wa[ri] 品性が悪い

karika[ri] 疥癬

p.22 [ka]rü (鍵を) かける

gawa[ri] 周辺

gaŋküra[a]dama ぱっとしない人

kaŋ[ŋe]rü 考える

kantŋke[rü] なすりつける

kan[na] 縫い糸

ka^mpüketa[ga]ri 瘡蓋がいっぱいの人

ga^m[be] 頭にできた瘡

+ ga^mbeta[ga]ri 頭に瘡蓋がいっぱいの人

kikaⁿ[zü] 難聴者

+ kikaⁿzüsa[ma] 聞かない人

- p.23 kigase[rü ~ kʰikase[rü ~ kigahe[rü ~ kʰikahe[rü 聞かせる
kʰika[ne[やんちゃ、喧嘩強い
kʰi[kam]po 腕白坊や
+ [ki]ŋi 杵
kʰike[rü 聞こえる
so[ma]ɸü 杣夫
kiⁿziⁱ[ei]pa 横座の向かいの座
kaga[za] 客座の向かいの座
kʰi^ta[ŋi]rü 切る
kʰi^kkü^ra[he]ŋki ~ gikkü^ra[he]ŋki 腰痛
kʰi^t[tei] 飼い葉桶
ki[na[昨日
kinakü[se]] 焦げ臭い
ki^mbaeⁱk[ko]i 利発 (多少ずる賢い)
+ kʰi^ppa^ei[ne 素早い
ki^mbi[teo[急須
kʰise[rü ~ kihe[rü 着せる
[ki]mi トウモロコシ
- p.24 ki[mo]ja[gü ~ ki[mo]jage[rü 癩に障る、心がいらだつ
ki[raⁿ]zü 豆腐の絞り滓
[ki]ri 際限
kirümo[no]] 着物
küi[bü]zi 食い分 (話者によっては küi[bü]tei)
[gü]:[gü]do 急いで、速く
kü[e]rü ~ küp[pe]rü 塞ぐ
kü[ŋo[ハマスゲ
kü^sare[e]] 古くなった家
- p.25 güⁿ[dze]rü ~ güⁿ[dzü]rü 不満をぶつぶつ言う
[kü]:eta 心配した
kü^sēja[mi[悪阻^{つわり}
kü^ta^m[ba]rü 死ぬ [卑語]
gü[da]ma[gü ~ kü[da]ma[gü, güda[me]gü 不平をいう
[kü]damonda 心配だ
kü[te^m]berü べちゃべちゃしゃべる
kü[dzi]joŋo[ei[少量の食べ物
- p.26 kübima[gi[襟巻

kübe[rü] 焼べる
+ kü^m[ba]rü 運ぶ
kümakagü[ei] 欠点隠し
kü[ma]rü もつれる、からまる
+ kügü[rü] (糸を) 繰る
kürü^m[bi] ~ kürü[mi] 胡桃
kürü[ma]rü (毛布に) 包まる
+ kü[ro] 畔
kü[wa]rü 塞がる
[ke:]ran 卵型の餡入り餅が入っている醤油ベースの汁
[ke:]sü 返す
ke[ga]zi 飢饉
kekka[ra] 貝殻

p.27 kek[ko] お粥

ke[ci]gi 雪除け用ショベル
geⁿda[ga] 毛虫の総称
+ kü[ma]geⁿdaga 大きくて黒い毛虫
[ke:]züigare 消えちまえ [卑語]
[ke:]tea, [kep]pa 裏返し
[gep]pa びり
+ ketsükü[se] けちな
ketsüma[zü]gü 蹴躓く
keⁿ[do] 家の戸
+ keⁿ[do] 道路
keⁿdoba[da] 路肩

p.28 [ke]na 腕

ke[ne] ひ弱い
[ke:]ne] 大したことない
ke^m[ba] 食を盛る葉
kemü[te] ~ kem^pü[te] 煙たい
ke[ra] きつつき、蓑
ke[rü] 消える、上げる、呉れる
[ke]rü 食べられる
[kem]pigi 肩の三角筋
ko[ae] ~ ko[ai] 下味をつけて煮た大根・人参などを鱈子で和えた料理

p.29 [ko]i ~ [ko]e 堆肥

koiⁿda[me]] 肥溜め

+ go:[zo:]ŋüra 飢饉に備えて食糧を蓄えた村営の蔵

+ ko[sü] 漉す

ko[we]: 疲れる

go[we]kirü 威張る

ko[ŋa]] 大樽

ko[ŋe]: お焦げ

ko[k^ɕi]tane うす汚い

[ko]gü する

[ko]ŋü 歩く

gogütsü[bü]ei 無駄飯食い

ko[gü]wa サルナシの実

p.30 gokotsü[ma]ri ~ goko^dzü[ma]ri 吃り + goko^dzü[ma]rü 吃る

koŋo[ri] 塊

[ko]sa^mbiei[ne]] どこか淋しい

goⁿza[ra]sü 恥さらし、失態

go:^dzoppa[ri] 強情を張る者 [強意]

kosae[rü] 拵える

kose[rü] ~ kohe[rü] 拵える

goda[gü] 不平不満

koⁿda[ei] 腰につける物入れ籠

godama[gü]] 内臓、がらくた不用品

+ [ko]tei 東風

koteŋa[sü] くすぐる

kok[k^ɕi]k^ɕi[gü] 気が付く

p.31 kok[ko] 子供

+ kok[ko]ü[ma] 仔馬

kotta(ra)[ni] こんなに

kot[tea] こちら

+ koppaei[ne]] 小うるさい

koppaⁿzüga[ei]] 恥ずかしい

kone[da]] この間

konobütei[ko] たったこれだけの量

ko^mbita[ga]ri 垢だらけの人

ko^mbi[ri] 軽い間食

+ ko^mbüra[ke]rü 足がつる

- ko[ma[馬
p.32 koma[rü] お辞儀する
[go]me 鷗
go[mo]küso 不平不満、ぶつぶつ
ko[ri][mi]rü こりごりする
koremi[sã]i これこれちょっと [呼びかけ]
goro^(d)zü[gü] 無理難題言っておどかす
kon^(d)zi] 小路
gon^(d)za[ra]sü 恥さらし
[ko]nta 今度は
kontsükeraga[sü] ややくしくこんがらかす
gom[pe]] ハゼの一種
gombo[ke]rü 駄々をこねる
gomboho[ri]] 駄々をこねる人
p.33 saga[ei]] 賢い
sa[ga]pera なだらかな坂
saka[mak]ko ままごと
saki[ta] さっき
sagi[no]ba[ne] 一昨日の晩
sagürado[ri] むく鳥
sa[ge] 境
saga^m[bü] ~ sage^m[bü] 叫ぶ、大声でしゃべる
mo[sü] 燃やす
[sas]sado 急いで
p.34 sa^m[bi]] 寒い
samü[ke] 寒気
sahe[rü] ~ sase[rü] させる
sa[me]rü 冷める、色あせる
sarü[ke]] 泥炭
sarükko[zi]ni 見栄すえた遠慮
[jat]to [sa]re はやく去れ [男ことば]
+ [jat]to iga[se] はやく去れ [女ことば]
san^(d)za]gü 三尺帯
[san]dansürü 計画する、あれこれ考える
san[to] 妊婦
p.35 sam[ma[, + de[ma]do 煙を出すための出窓

- ^dzeŋ[ŋo] 田舎
^dzeŋ[ko] お金
+ [^dze]ni 硬貨
ei[ŋa] つらら、水溜まりなどに張る氷
ɸkase[rü ~ ɸkahe[rü] 知らせる
eiŋamo[ri] 軒先の凍結による雨漏り
^dzi[ŋi]sürü 遠慮する
- p.36 kǐ[se]rü 煙管
^dziǰü[na]ei 意地がない
süǰüdama[rü] 冷え切る
sü[ŋü]ri すぐり [樹]
sk[ke] ~ sk[ka]i すっぱい
ɸkota[ma] がっぼり (~儲ける)
ei^dzi[ga]rü 係わる
ei^dzi[kü]sewa[ri] 悪いくせ
+ eindzi[re]~eindzire[jü]gi 重くなって、木からばさばさと落ちる雪(春の到来の印)
^dzise[ko] 法要
- p.37 ɸta(a)ⁿ[zi] 下味
eiⁿ[da]mi どんぐり
^dzidara[gü] なまけ、だらしない
^dzit[ta]ri どっしり
[ei]pa 尻尾、端っこ、びり
^dzip[pa]ri たくさん
sp[pe] すっぱい
ep[pe] ha[rü] 指はじきをする
eido[ge] もみじがさ [山菜]
ei[na i]: 品格がいい、格好がいい
einaka[de] しぶとい
- p.38 eina^(m)bike[rü] しおれる
^dzina[rü] 怒鳴る
ei[ne] 強靱
ei[no]rü たわむ
eppakire[on]zi 男の末っ子
ɸpa[sa]mi 尻からげ
ɸpa[ne] はね水
ei^mba[ja] 芝居

ei^m[ba]r^ü 縛る、結う
eiba[re]r^ü 寒気が強い
eibitʃge[ne]] だらしない
tsüme[te 冷たい

p.39 [sü]makko ~ [sü]ma 隅っこ

ei[ma]r^ü しまう
eimi[do]:f^ü 凍豆腐
eimi[r^ü 凍みる
eimoja[ge[凍傷
eimo[r^ü 沁みる
[^dzak]ko 小魚、川魚の一種
eak[ko]i 冷たい
eabe[k^ü]r^ü 言いまくる
eabera[ç]r^ü 言われる
eabe[t^{eo}]] 多弁者

p.40 ^dz^ü:ne] 荳胡麻

+ ^dz^ü:ne[a]e 荳胡麻和え
+ ^dz^ü:ne[mo]zi 荳胡麻餅
+ ^dz^üg^ü[re]r^ü (果物が) 熟れる (膿には使わない)
[e^ü]deko シオデ [山菜]
e^oik[ko] 背負い商い
[^dzo:]i 居間の隣座敷で来客に用いる上居間
^dzo[mi] ガマズミ [樹]
^dzo[mi]z^ü (溜めて豚にやる) 台所污水
[^dzo]:ri 草履
^dzo[sa ne]] ~ ^dzo[se ne]] 造作ない、簡単
e^ot[t^eü]: 始終
^dzoppa[ri] 強情を張る者
^dzoppariko[gi] 強情っ張り
e^op[pe]] 塩辛い

p.41 ^dzi[ri] 霧雨

^dz^ü[r^ü]imonda ずるいこと
^dzin[^dzo] ~ ^dzin[^dzo]: 人形
^dzin^dzoci[ba]i 人形芝居
eimba[ri]] 戸締り用の棒
s^ü[ŋa] ~ ei[ŋa] 氷柱、水たまりなどに張った氷

- süügüdamarü 冷えて縮こまる
süügü[mü 冷え切る
- p.42 sünje[rü 差し込む
eizü[ga]rü 相手になる
süsü[ha]gi 年末の大掃除
^dzüp[pa]ri たくさん
ş[to] süürüna 係わるな
^dzina[rü 大声を出す
ei[ma]sü 返す
- p.43 ^dzün[^dzün]_N どんどん
[se]: kⁱ[re]rü 精が切れる
sega[se]rü 急がせる
[se]gi 堰
[se]ko [ko]güna 節介するな
[se]koko[gi] 干渉する人
se^dzi[ne]] 切ない
semak[ko]i 狭く窮屈
san[so]: 山椒
sewaei[ne]] 忙しい
- p.44 son[^dza]eta 仕損じた
sogo[ra] その辺
sokkürü[ne]rü 反り返る
sotta(ra)[bek]ko ~ sono[bek]ko そんな少量
sotta[ra そんな
sodo[me[ハナショウブ
sobakak[ke]] そば粉を練って伸ばして切ってゆでたもの
sobaki[ri] 細く切ったそば
- p.45 sora[sü (田畑などを) 放置する
sora[ma]do 天窓
soro[ge]rü 揃える
[da]i 誰
[ta]iⁱisase[rü 面倒をかける
tai[ne 足りない + tai[da 足りた + tari[rü ~ tai[rü 足りる
- p.46 tagaⁿ[^dzo[地下足袋
tagaramo[no] 役立たず、厄介者
taga[rü 集まる、強請^{ゆす}る

tagüran[ke] 馬鹿者、おっちょこちょい人、常識外れのことを言う人

tagü[rü (ページを) めくる tagüre[rü (ページが) めくれる

+ tagü[rü 手繰り寄せる

doⁿ[^dzo] ドジョウ

tago[no]do[ηü] 蛸の内臓

tago[no]bot[teï] 蛸の胴体

+ bot[teï] 頭

tago[be]ja 強制労働者の宿舎

taei[ni]na[rü 為になる、役に立つ

da^dzi[me]gü ジャージャー溢れる

da^dzints[ke] 荷方

+ da^dzin[駄賃

p.47 ta^dzü[鱈の白子

ta^dzüga[ma]rü 摺まる

ta^dzü[ga]rü 摺まる

~no[dat]ta ~の戸主

ta[de]rü (仔・卵を採るために) 飼育する

ta[na]gü 持つ + ta[na]itekoi 持って来い

dahaŋko[gi] 駄々をこねる人

+ [da]mbüri とんぼ

[da]ma よく溶けずに残っている粒状のかたまり

tama[ka]ze 北西風

p.48 tamagürame[me]⁽ⁿ⁾dzü 白い輪のある太くて長いミミズ

tama[ŋe]rü びっくりする

da[ma]sü 子供をあやす、騙す

tamami[so] ~ misoda[ma] 煮て潰した大豆をボール状に丸めて乾燥したもの

damara[ga]sü 黙らす、騙す

[ta]me 斜視

tamo^dzü[ga]rü しがみつく

tara[ga]sü 垂らす

+ da[ra]ko, dara[se]_N 硬貨

tara[po] タラの木の若芽 (食用)

ta[re] 鹽

taŋkiri[a]me 練り伸ばして白くした飴

tan[da]de[ne] 容易でない

p.49 dando[ri] 下準備

- ta[na^{おぶ}] 負い紐
teiŋa[rü] 違う
dzi[gyü na]e 意気地なし
te[ke] 近い
[tei]tei 同居する伯叔母
tein^dzi[re]ko 刺子短衣
tein^dzikü^mba[rü] 小さくなる (話者によっては tein^dziko^mba[rü])
teaka[ei] そそっかしい人
- p.50 tea[ke] ~ teak[ko]i 小さい
tea[ram]po[ra]_N 無責任
tean[tea]ŋko 袖無しの綿入半纏
+ dode[ra] 袖のある丈の長い綿入半纏
+ tan^d[ze]_N 半纏
[tea]nto ちゃんと
[teo]ŋi 尻拭き用の茎
[teo]sü いじる
teottoqi[ma] ちよつとの間
teo[pe]tto 少し、ちよつとばかり
tska[ga]rü 躓く
tskara[ma]rü (何かに) 摑まる
tske[ŋi] 火付け用の松の根
+ ke[ja]gi 櫛
tsüŋiki[re] 布切れ
[tsü]gi[ne] つまらない
- p.51 tsü[ŋü] 縫い繕う
tske[na] 漬物 (菜っ葉のに限らず)
tskkari[bo] 戸締り用の棒
tsü⁽ⁿ⁾[dzüra][ŋo] 带状疱疹
ts[to] 藁苞
+ tsto[nat]to 藁苞に包んだ納豆
tsüma[gyü]rü ~ tsüma[ke]rü 躓く
tsüma[ŋo] 藁製の沓
wara^d[zi] 草鞋 (紐を足首に巻いて固定する)
wara[ŋü]tsü 藁製の長靴
waran^d[zo]ri 藁草履
tsümitsü[gyü]ri 苦勞すること

- [tsü]mi[to]ŋa 悪い行い
- p.52 tsüratsü[gi] むっとした顔つき
 tsüratske[ne] 厚かましい
 + tsü[ra] ^{つら}面
 kaŋa[mü] かじかむ
 [te]ŋi 大儀、拍子木
 + de[ga]sü 完成する
 [te⁽ⁱ⁾]go 太鼓
 de⁽ⁱ⁾[ko]_N 大根
^dzenko[te]ei お金の無駄使い
 tagiŋite[ei] 薪の無駄使い
 te^dzüdara[ga]sü 手伝わせる
 tek[ka] 手甲
 dekkaraü[so] 大きな嘘
 [det]tara 大きな
 tek[kü]i ヒラメ
- p.53 [te]ndzüma 手品
 + tendzümats[ke]] 手品師
 teip[pe] 手一杯
 teⁿ[do]wa[ri]: 手際が悪い
 de[na]^dzügi 出張り額
 + tenü[ŋü]i, te^fü[gi]] 手ぬぐい
 [de]no[e] ~ [da]no[e] 誰の家
 de[ha]rü 出る ([de]rü も同意味。「勉強などができる」の意はない)
 de^m[be]teo 出臍
 te^mbo[ge]] 不器用
 tema[da]re 手数
 temadarekü[se]] 面倒くさい
 teme[da] お前の家
 + te[na]ŋa こそ泥
 teŋ[ŋe] 大概、変わっている
 teŋ[ŋo] 同じ
 ten[de] 個々ばらばら
- p.54 tendego[de]_N ばらばら
 den[de]mmüei 蝸牛
 to:[ei]] 初めから終わりまで

- to:[ri] 土間の通路
toŋa^dzikada[ri] 他人のことを悪く言うこと
to[ŋi] ~ to[ŋe] 棘
toŋü^dzi 家の入口
to[ŋe]o, to[ŋjok]ko, toŋi^dzok]ko イトヨ [川魚]
- p.55 toke[ŋek]ko 交換し合うこと
to[ke]süü 取り返す to[ke]rüü 交換する
tokesa[e]rüü 取り返される
+ ba[güü]rüü 交換する
[do]godari[ka]^dzüüdari ~ [do]godari[ka]tsko どこでも
+ to[εo]rüü 老いる
toⁿ[^dzüü]güü 届く
totska[ma]rüü 擱まる
tokküüri[ge]rüü ひっくり返る
tokküüri[ma]rüü 包まれる
[dot]tara どんな
+ [dot]tara(da)ç[to] どんな人 (あきれていう)
+ natta[ra] どんな
+ natta[ra]ç[to] ~ nattara[da]ç[to] どんな人 (あきれていう)
- p.56 tot[tsüü]rüü 貝の中腸腺
toppaⁿ[^dzo]süü やり損なう、失敗する
toppa[na] 最先
dop[pe] ぶり
top[pe]rüü 塞き止める
to[na] 飼葉
dobü[to]i ~ dobü[te]: 太い
to[bo]süü 火葬する
toriei^m[ba] クロモジ [樹]
toro[ke]rüü 取り除く
+ toro[ge]rüü 溶ける
+ [φüü]güüro 梟
+ φüügü[ro] 袋
to[ra]^mba^dzi 奪い合い
- p.57 doŋko[ro]] 大きい
+ doŋkoro[i]ei 大きい石
don^dza[刺子半纏 (漁師がよく着た)

- [do]n^dzū 尻
 [to]mbi 和服の上に男性が着用するマント
 dom[be] どぶろく
 + [to]mbo 土をならす均し棒
 [na] ~ n[na] お前
 + naŋa[ma]rū 横になる
 nagibet[teo] 泣き虫
 + bet[teo]kaqū ベそをかく
 [na]gūsū 紛失する
 na[ŋū]rū 塗りたくる
- p.58 nage[te]i ~ nage[tsū] 泣き虫
 na[ŋe]rū 捨てる
 naŋewa[ra]ei 放任された子供
 nagahe[rū] 泣かせる
 nagamaha[^dzū]re 仲間外れ
 naŋa[ra] 細長い小丸太
 jama[no]naŋa[re] 稜線、尾根
 + naŋa[ma]rū 横になってくつろぐ
 nandzū[gi] 額
 [na]sū 生む
 na[^dzū]gū 慣れつく
- p.59 na[ɸa] 菜っ葉
 namakoko[gi] ふざけ者
 nama[ra] 凡そ
 namarahaŋ[ka] 中途半端
 namarahen[^dzi] 曖昧な返事
 nandzoka[ge] 謎かけ
 [na]ntakan[ta] 是が非でも
 [na]nda^dzūgo[do]a [ne] 何のことは無い
 + nam[bū] 南部 + tsū[ga]rū 津軽
 nam[bo] いくつ、いくら
- p.60 niek[ko] 大根・人参・などを切って炒め、煎り豆腐と和えながら煮る料理
 [ni]ŋa, niŋak[ko] 嬰兒
 nika[mū] いびつになる nikame[rū] 歪める
 nikūtara[ei] 憎たらしい
 niei[ma]rū 煮込んで味がよく染みる、煮込みすぎる

- ni[da]^dzũ ~ ni[da]rũ 煮立つ
nidara[ga]sũ ~ nedara[ga]sũ 煮立てる
nidoi[mo] 馬鈴薯
ni[wa] 土間
- p.61 nü[gũ]i 暖かい
nügũda[ma]rũ 温まる nügũda[me]rũ 温める
nü[gũ]rũ 拭う
nü(t)ta[gũ]rũ 塗りたくる (話者によっては nüda[gũ]rũ)
[ne] 無い
[ne]go 猫、作業用背当て
+ nego[gũ]rũma, [ne]go 手押し車
ne(k)ko[ma]rũ ぬかるみにはまって動けなくなる
nesamera[ga]sũ 目覚めさせる
ne^dzi[ŋe]rũ 寝違える (話者によっては ne^dzi[ge]rũ)
ne[da]rũ 催促す
ne[da]rũ ~ ni[da]rũ 煮立つ
- p.62 nettara[me]gũ ~ nekkara[me]gũ 粘っこい
nen[o] お前の家
nep[pa]rũ 粘りつく
nepũka[ge] 眠りかけ
nepũ[te] 眠い
ne[ma]rũ (畳・板・地面などに) 坐る
nen[sa] お前の家に
nen[ne]ko 子守り用の綿入半纏
noda[ba]rũ 地面に横になる、腹ばいになる
not[ta]ri たくさん
not[ta]ŋko, not[ta]do 大量
noppe[ra] 何もない土地、平らなところ
- p.63 nohe[rũ] 乗せる
no^(m)[be]rũ 差し出す
no[me] ものもらい [眼疾]
nome[kũ]rũ つんのめる
no[ri][ka]rũ 糊付けする
no[ro]pe 十センチほどの川魚、起きるのが遅い人
ba[o]ri イグサや菅で編んだ作業帽
baori[mo]^dzi そばか麦か澱粉を取った後の芋の粕で作る黒砂糖味噌餡

- [ha]gai[gü] はかどる
- p.64 haga[εo] 墓地
- [ha]gi 箒
- bagü[ro] 馬の仲買人
- ba(ŋ)[ŋe] 暗くなってからの晩
- + baŋega[da] 夕方
- baŋe[sa] 夕方
- basa[me]gü, + basadzü[gü] うろうろ歩き回る
- ha⁽ⁿ⁾dziga[e]rü 仲間外れにされる
- ha⁽ⁿ⁾dzigaei^dzü[ra] 恥ずかしい思いをするから
- ha^dzibiko[gi] 嫉妬心が強い人
- handza[me]aü 準備ができあがる
- handzo[sü] 外す
- haeo[rü] 端を折る、省略する
- p.65 baɛi[ra]ŋü じたばた騒ぐ
- ha[he]rü, ha[ɛi]rü 走る
- + hase[ma]rü 走り回る
- + harükî[to]: 初春にお婆たちが村の各入り口で村を病気や悪霊から守るために行う祈祷
- hadaga[rü] 広く開く
- ha⁽ⁿ⁾da[ge]rü そぎ落とす
- bada^dzü[gü], bada[me]gü あわててばたばたする
- hatea[ŋe]rü 跳ね上げる
- [hak]kara こんなに早く
- hakkjo[gi] 八卦をする人、預言者
- bak[ke] 露の臺
- + bakke[mi]so 露味噌
- hak[ke]rü 走る
- [pat]tei メンコ
- p.66 bap[po] おんぶ [子供に対して使う言い方]
- ha[na] 澱粉
- hanap[pe] 鼻の先
- [ba]ba うんち [幼児語]
- ha^m[ba]gi, habagi[da]ge なら茸
- habage[rü] 喉がつまる、あふれ出す
- + baba[ja]ⁿdo お婆たちが集まる集会所
- hama[rü] 加わる

- hajaẽta[de]rũ けしかける
ha[ja]sũ 煽る
haja[ma]rũ 腹ばいする、早まる
[ha]rakũ[da]ri 下痢
[ha]ratsũ[re] 腹いっぱい、満足
[ha]rape[ra]ei 空腹
hara[bok]ke 妊婦
- p.67 haŋkakũ[se] 常識外れ
[pa]ŋko 一部禿げ
baŋkoto[ri] 場所確保
han[tea] 腰まである綿入半纏
[ha]ntske 仲間外れ
+ hampũka[ge] 中途半端
çka[gi] 十能
çka[da] 西風
çkara[bi]rũ 乾燥する
bikũtara[me]gũ びっこをひく
+ bikũ[ta]rabikũ[ta]ra ビッコビッコ [擬態語]
heta^m[ba]rũ 疲れる
çteaka^m[bũ] ~ heteaka^m[bũ] 膝頭
- p.68 çkkara[ma]rũ 引っ掛かり絡まる
bik[ki] 蛙、少女
[bik]ko 片ちんば
[bit]ta 女子
bit[teo]kogũ 苦勞する
sa[ga]pira 坂
[bi]ro 涎 [子供に対して使う言い方]
biro[ka]ge 涎掛け
[φũ]: wa[ri]: 風采が悪い
φ[ka]sũ 蒸す、(おならを) する
+ [he] おなら
φkidama[ri] 雪の吹き溜まり
φũgiwara[bi] 露と蕨
- p.69 φũ[ŋũ]sũ 取り壊す、ほぐす
[me] φũ[gũ]rũ 亡くなる
çkũrũ[me]rũ ~ φkũrũ[me]rũ ひっくるめる

φ[ke] さかり、発情
 φ[ke]same 盛衰、上がり下がり
 φ[ke]rū 発情する (五段活用)
 φü^dzamake[ei] 醜態晒し
 bü^dzo[ho] 失礼
 φü^dzori[ge]rū 反り返る
 φü[^dzi]ri 端
 φs[pe]rū 密閉する、火にかけて焦がす
 φ[ta]gü, φta[ra]gü 叩く
 p̄[ta]gü 叩く

p.70 φta[ηü], φtaηe[rū] 塞ぐ
 φ(t)ta[gü]rū ~ φ(t)ta[gü]rū ひったくる
 φtei[ηe]rū 捻挫する
 bütt[tea]gü 引裂く
 φts[ke]rū 吹き付ける、くつつける
 bütta[ηi]rū 切る
 φütt[tsü]gü くつつく
 bütto:[ei] 引き続き
 φp[pa]rū 引っ張る
 + φp[pa]rū 頑張る
 φtsübü[rū] 踏みつける

p.71 φtoga[da]ge ~ φtoga[da]ge 一食
 φto[ge]ri ~ φto[ge]ri 一回
 φ(ü)t[to]^dzi 同じ
 + φtoηoro[ei] 人殺し
 φto[ne] ~ φto[ne] 他人の家
 φtome[a] wa[ri]: ~ φtome[a] wa[ri]: 気恥ずかしい、人目にさらされて体裁が悪い
 φtome[ko]gü ~ φtome[ko]gü 他人を気にする
 φimü[gü]rū ~ φümü[gü]rū 無理に引剥る
 φümü[ei]rū かきむしる
 φi[mo] 紐
 φüradaje[rū] (話を) 広げる

p.72 φürük̄[se]hana[ei] 古い昔の話
 φürü[ei] 古い
 φürütaje[rū] 広げる
 φürü[ma]sü 振り回す

- φü[ro](ba) ta[de]rū 風呂を沸かす
φündama[ga]sü 騙す [強意]
φün^dzüga[ma]rū 摺まる [強意]
sega[he]rū ~ sega[se]rū 急がせる
be[go] 牛
+ a[ga]bego 赤く塗った張り子の牛
begonoε[ta] 水芭蕉、座禅草
- p.73 he^dzi[ne] ~ se^dzi[ne] 切ない
bedana[gi] 小波もない尻
heta[ba]rū くたびれる
hetεaka^m[bü] 膝頭
- p.74 hetεo[ηe]rū がっかりする
betta[ra] 平ら
het[teo] 臍
het[teo]kogü 難儀する
he[de]kürū 連れて来る
he[de]i[gü] ~ he[degü] 連れて行く
- p.75 [be]be 着物 [幼児語]
heraga[sü] 減らす
heraka[re] いがらっぽい
[he]rū 言う
[he](rū)na 言うな、するな
henkija[mi] 神経質
getas[ke]:to ブレードが鉄製の下駄スケート
+ tageske[to] ブレードが竹製の下駄スケート
- p.76 hoi[do] 乞食
hoidokü[se] 物欲しさが強い
ho[ga] 他所
ho[ga][ne] 他所の家
bokka[ge]rū 追いかける
ho[ge] 盆供養
ho[ge]rū (薄などが) 盛りを過ぎる
so[go] 其処
hogo[rū] 騒ぐ
[ho]ⁿdzi[na]ei 愚かである
hosok[ko]i ~ hosok[ke] 細い

- p.77 boⁿ[da]süü 追い出す
boda[mo]^{dzi} おはぎ
botta[gü]rüü 法外な料金を取る、追い払う
hottara[ga]süü 放任する
bot[tei] 女性の頭巾
hottsügima[wa]rüü 徘徊する
ho[do]rüü ほてる、熱くなる
ho[nekara] がりがり痩せている状態
ho[he]rüü ~ ho[se]rüü 干せる
- p.78 [bo]bo 着物 [幼児語]
homa^{dzi} へそくり
bori^{nek}[ko] 追いかけてこ
boribo[ri] なら茸
bo[rüü] 追う
horo[güü ~ horo[rüü] 揺り動かして払い落とす、(箕で) 揺り動かす
horo[ei] 発疹
bo^{ng}[kü]ra 愚鈍
[ho]ⁿ^{dzi} o[do]süü 常識を失う
honto[^{nek}]ko 本気で
- p.79 bon[na] よぶすま草 [山菜]
bonno[kü]^{mbo}, üe^{iro}[kü]^mbi 後ろ首
ma[ga]süü (ちょっとした拍子に) こぼす
ma[ge]rüü (意志的に) こぼす
mage[rüü] 負ける、値引きする
maga[na]rüü それでし終える、装う
maga[he]rüü ~ maga[se]rüü 任せる
ma[gi] 一族の血統
ma[gi]ri 小刀
[ma]güü[ne]: うまく行かない
magüü[ne] 不味い
magüü[ra]rüü 食べる [卑語]
[ma]ne 屋根裏物置
- p.80 maⁿ[^{dza}]rüü 混ざる
mandzora[ga]süü 混ぜ合わす
ma^{dzi}[no][çi] 市日
mak[ka] 豆類の脱穀などに使用するY字形の枝

- mak[ko]] お年玉、脚立
mats[ko]i 眩しい (matske の発音はしない)
ma^dzürts[kai] 周辺の里の住民が田名部の街に買い物などにでかけること
[ma]^dzübo 松藻 [海藻]
map[pi]rūma 真昼間
ma[de] 丁寧
+ ma[^dzɛ]ro 待ってくれ + [ma]tsü 待つ
- p.81 ma[na]gü 目
[ma]ma ご飯
mamata[gi] ご飯の支度をする人
[ma]mata[gü] ご飯の支度をする
+ ka[ɛi]gi, + mamaŋo[se] ご飯の支度
+ [ma]ma[hɛ]ra しゃもじ
+ ɕa[mo]^dzi おたま
mamatea[wa]_N ~ mama^dza[wa]_N 飯茶碗
ma[mi] アナグマ
mame[ɛi] 勤勉
mameeko[te]_N ~ mameeko[de]_N 足払い [子供の遊び]
+ mamema[gi] 豆まき [行事]
maja[me]gü うろうろする
marü[ŋü] 束ねる
marü[go] ムラサキイガイ [貝]
mandze[ra]gümandze[ra]gü 地震時に言うまじない
- p.82 mizükü[re] 溺れること (「～で死んだ」のように使う)
miⁿzūma[ɛi] 洪水
misokoei[za]rū 味噌漉し
+ misoka[ja]gi 味噌貝焼き (下北の名物料理)
mi[sop]pa 歯並びの悪いこと、虫歯だらけの歯
miso[de]gü 技術未熟の大工
mitagü[na]ɛi 可愛気無し
mitagü[ne] 醜い
mip[pa] 見栄え
mimida[re] 中耳炎
mügattsü[ra] 憎い奴の面 [卑語]
mügüre[rü] 機嫌を悪くする
müge[do] 出迎い人

- p.83 müeke[rü] 孵化する
 müüt[ta]ri いつもいつも
 müünts[ke]rü 機嫌を悪くする (主に子供が)
 mü[ri]kü[ri] むりやり
 [mü]rü ~ [mo]rü 漏る
 [me]: 美味しい、前
 [me] o[do]sü 死亡する
 megaeiko[gi] めかし込む人
 meka[bü] 若芽の根
 meṅü[sa]re 眼病 (目から目やにがたくさん出る)
 me[gü]^dzira ta[de]rü 目くじらを立てる
- p.84 megüre[rü] めくれる
 mek[ke]rü 見つける
 meṅ[ko]i 可愛い
 meda[ma] 繭玉 [行事]
 meⁿ[da]re 前掛け
 megü[ra] 盲
 nekkō[me]ei 焼き損ないのご飯
 me[na]güüsürü 紛失する
 me[me]⁽ⁿ⁾dzü ミミズ
 [me]rü 見える
 [me]ṅko 可愛い子
 meṅko[ga]rü 可愛いがる
- p.85 [mo]ṅü 挽ぐ、折る mo[ṅe]rü 挽げる、折れる
 müügüreojaⁿ[^dzi] へそ曲がりおやじ
 moteo[ko]i, moteo[ka]ri くすぐったい
 mokki[ri] 盛り切り酒
 monoṅü[sa] 怠け者
 monoṅü[se] 物臭な
 mono[kwa]ei 話の腰を折ること (話者によっては mono[ka]ei)
 mo[mo]ta 太腿
- p.86 mo[jo]rü 着物を着る
 mondzoka[da]ri 訳のわからないことをいう人
 [ja]:[ja]do 急いで、すぐ
 jagama[ei] うるさい
 jagi[ba] 火葬場

- p.87 ja^dzi[湿地帯
+ nüta[ba]] 湿地帯
[ja]^dza[ne] どうしようもない
ja^dzūada[ri] 八つ当たり
jakka[mi] ねたみ、嫉妬
[ja]ts(ü)kəts(ü) やれそれ (~言われて) (急かせる場合に言う)
jak[ko]i ~ jak[ke] 柔らかい
[jat]to 速く、急いで
- p.88 jana[sat]te 明明後日
+ eia[sat]te 明明明後日 (goasatte と続かない)
ja^(m)ba[tɕi] 汚い
ja^mbūka[ra] 藪中 (話者によっては ja^mpūka[ra])
ja[ma]go 杣夫
ja[ma]se 北東の風
+ [ko]tɕi 東風
ja[me] てぐす糸
jame[do] 病人
ja[me]rū ~ [ja]mū 痛む
- p.89 + jū[i] , jūi[ko] ~ jūe[ko] 力を貸し合う労務
jūgika[gi] 除雪すること、除雪用のショベル
jūgina[ŋe] (側溝などに除雪した) 雪を捨てること
jūgija^m[bū] 雪だまり
jūgūde[ne] ろくでない
[jū]:godoki[gi] 言うことを聞くいい子
jūgū[ne] 悪い
jūsū[ŋū] 濯ぐ
jūsūrbū[rū] ゆすぶる
joⁿda[re] 涎
jū[da]rū 煮立つ
jūtsūŋa[sū] 揺り動かす
jūtsū[ke]rū 結いつける
jūtsū[na]ŋū 結いつなぐ
- p.90 jūts[pa]rū 結ぶ
jū[no]go 澱粉を熱湯で練ったもの
jūpū[te] ~ jūbū[te] 煙たい
[jū]^mbena 昨夜

- jü[ma]güre 湯あたり
 jü[rü]gü[ne] 容易でない
 jo:jarajat[to] ようやく
 [jo]ga 蚊
 jokka[ga]rü 寄りかかる
 jo[gü][ko]gü 欲する
- p.91 jo[gü]ei[gi] よくよく
 jo[gü]taga[ri] 欲深、執念
 jo[gü]tage[rü] 欲深する
 jo[ge] 多い
 jogeε^m[be]ri 要らないことまで言う人
 + jogo[sü] 寄こす jogosaε[rü] 寄こされる
 jogoⁿ[^dza] 戸主が坐る座
 jogondzaha[ri] 戸主を保っていること
 jota[me]gü ~ jottara[me]gü ふらふらよろける
 + φün^dzara[me]gü ふらふらよろける
 jok[ko] 用事
- p.92 jode[ko] 末っ子
 jo^mba[rü] 招待してごちそうする jo^mbaε[rü] 招ばれる
 jü^m[bi] 指
- p.93 [ra]^dzaaga[ne] 埒があかない、はかどらない
 [ra]^dzü[ne] 本意が不明
 ran[ki]tage[rü] 乱気になる
 ran[tea] 粗暴、手荒
 [wa] 私
 [wa](:ho) 私の方、私の家
- p.94 [wa]i 私
 wagaⁿ[^dze] 若衆
 waga[ne] 駄目だ、解らない
 waε[da] ~ wahe[da] 忘れた waε[ne] ~ wahe[ne] 忘れない
 wata(ra)me[ga]sü 強行する
 + wappa[ri] 上着 (話者によっては ürwappa[ri])
 wa[ja]da 大ごと
 wa[ra] 私 [女ことば]
 wara[sa]ⁿdo ~ wara[ha]ⁿdo 子供たち
 wara[ei] 子供

- wara[rü] 笑う
warawae[rü] 笑われる
p.95 warawara[do] 早く、急いで
wa[ri]: 悪い
waⁿ[dza]to わざと
waⁿ[dza]wandza わざわざ
[wa]ntska 僅か
n[na[, η[ŋa[お前
m[ma] 馬
p.96 ü[me[梅
m[me うまい

参考文献

- 秋田県学務部学務課（編）（1929）『秋田方言』秋田県学務部学務課。
上野善道（1991）「青森市方言の形容詞のアクセント」『アジア・アフリカ文法研究』19: 45-81.
上野善道（2019）「北奥方言の動詞のアクセント資料（1）」『国立国語研究所論集』17: 101-130.
川島柳三（編）（2002）『田名部辯語彙集』私家版。
工藤 祐（2008）『青森県南部地方の方言・民族（資料集）』（全3巻）私家版。
関谷徳夫（2013）『復刻版 吉里吉里語辞典』ハーベスト社。
成田秀秋（編）（2002）『木造町方言集—青森県西津軽郡—』青森県文芸協会出版部。
山村秀雄（1980）『青森県平内方言集』平内教育委員会。